

「道の駅等の防災拠点の耐災害性を高める技術」の 要求性能等に関する意見募集について ～防災拠点への耐災害性を高める新技術の導入に向けて～

国土交通省は、令和2年4月に開催した「第2回道路技術懇談会（座長：久田真東北大学大学院教授）」で了承された新技術導入促進計画における技術テーマ「道の駅等の防災拠点の耐災害性を高める技術」に関する技術公募の実施に向けて、要求性能（リクワイヤメント）及びその確認方法（案）に対するご意見を、本日から9月30日まで募集します。

1. 意見募集期間

令和3年9月8日（水）から令和3年9月30日（木）

2. 公募を予定している技術

- ①道の駅内の道路施設における太陽光等の自然エネルギーを活用した発電技術、及び発電した電力を蓄電し、停電時等の必要な場面で必要な電力を供給する技術
- ②国が管理する国道等に埋設されている道路管理用光ファイバーネットワークを活用した、道の駅におけるローカル5Gシステムに関する技術

3. 意見募集要領、応募様式等

下記ホームページよりダウンロードできます。

<http://www.rirs.or.jp/ikenboshu/>

4. 意見募集に関する問い合わせ

「道の駅等の防災拠点の耐災害性を高める技術」導入促進機関

一般財団法人 日本みち研究所 調査部地方創生グループ 「道の駅・新技術導入」担当

TEL：03-5621-3111 FAX：03-5621-3177 E-mail：r3_michinoeki@rirs.or.jp

※本意見募集は、令和2年4月27日に開催された道路技術懇談会を経て導入促進機関として選定された「一般財団法人 日本みち研究所」が行います。

※道路技術懇談会の資料等は下記ホームページで公開しています。

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/dourogijutsu/index.html>

<記者発表会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会>

<問い合わせ先>

① 技術公募について

国土交通省 東北地方整備局 道路部

特定道路工事対策官 古川（内線 4117）、道路管理課 道路構造保全官 吉田（内線 4124）

代表：022-225-2171 FAX：022-225-6988

② 新技術導入促進計画について

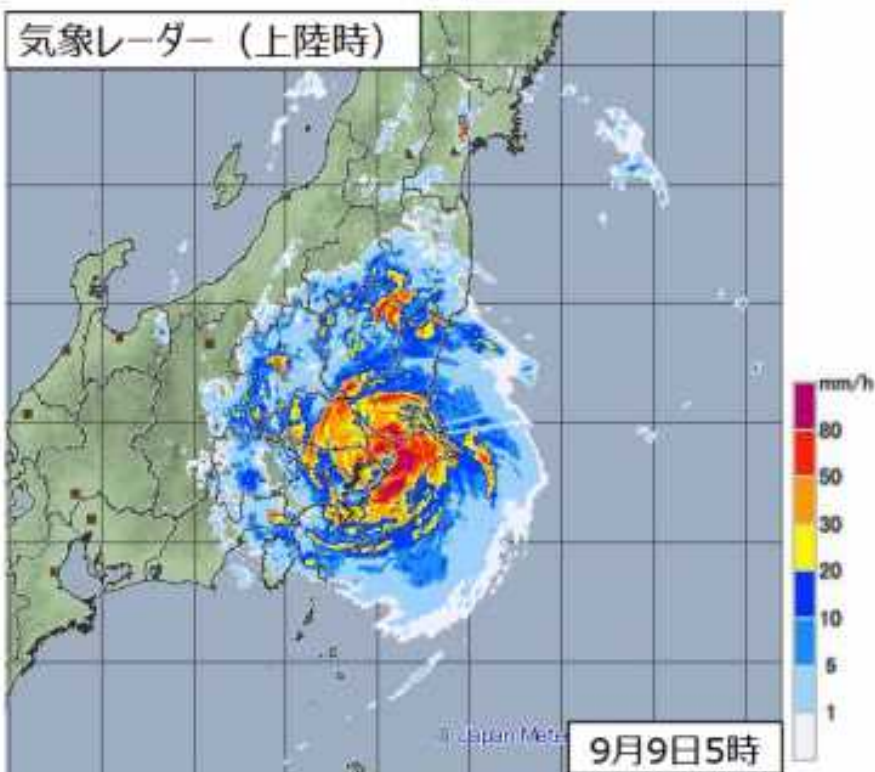
国土交通省 道路局 国道・技術課 技術企画室 課長補佐 大西（内線 37862）

代表：03-5253-8111 直通：03-5253-8498 FAX：03-5253-1620

○ 令和元年9月の台風15号や10月の台風19号では、大規模な停電や通信障害の発生などにより、被災地域において被害状況の集約に時間を要した例もある。

台風15号

千葉市付近への上陸直前(9月9日3時頃)に中心気圧960hPa、最大風速40m/sを記録



(気象庁資料より)

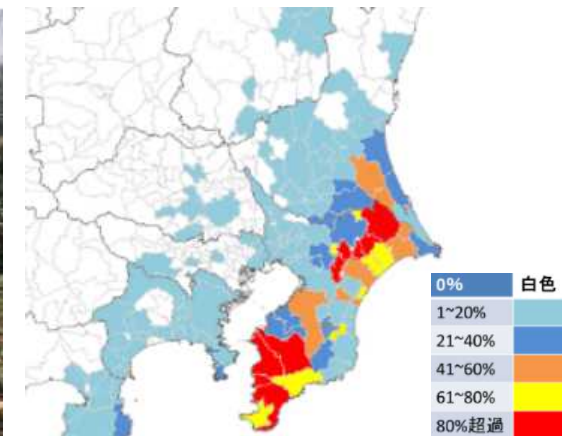
○ 電力設備に被害が生じ、広範囲で停電が発生

(経済産業省HPより)



倒木による電柱倒壊(四街道市)

(経済産業省HPより)



東京電力エリア内の地方自治体ごとの停電率(ピーク時)

○ 通信が途絶し、迅速な被災状況の把握に課題

- 電話回線や光回線の通信障害の発生
- 長期間の停電や通信不良の発生

被災状況の迅速な把握に課題

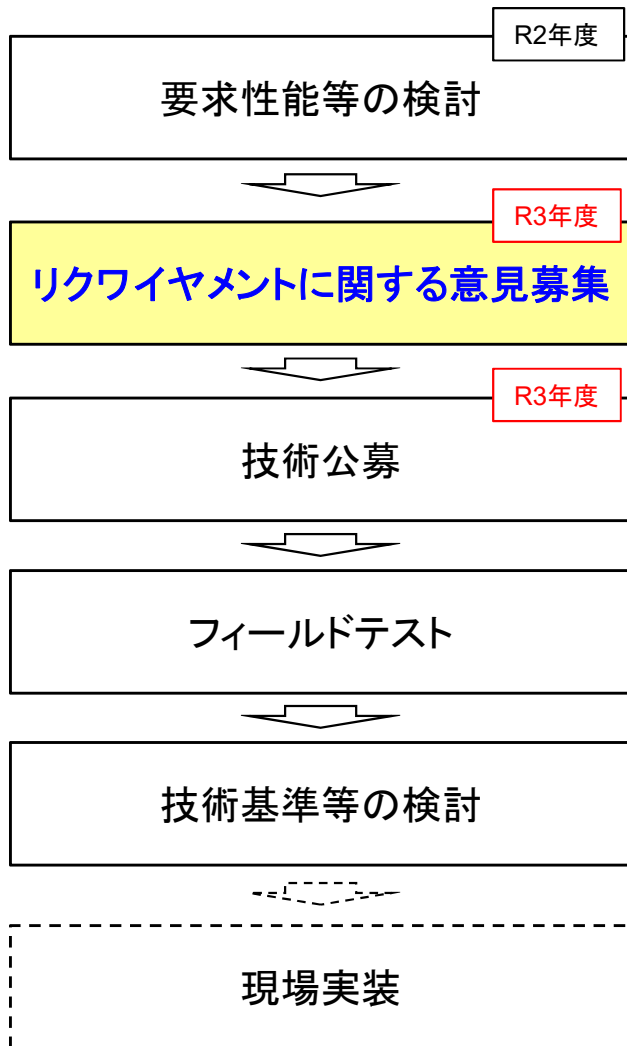


衛星通信による基地局の設置(NTTドコモHPより)

新技術導入の概要

- 情報通信機能や電源を安定的に確保するなど、大規模災害発生時においても適切な管理が可能となるよう道の駅等の防災拠点の耐災害性を高める新技術を導入
- 令和3年度は、リクワイヤメントに関する意見を募集するとともに、技術公募を実施

【検討の流れ】



【令和2年度の検討内容】

- 要求性能等の検討
 - 通信・発電技術の動向調査
 - 公募技術の要求性能や性能確認方法案の検討

【令和3年度の検討内容】

- リクワイヤメントに関する意見募集
 - 公募技術の要求性能及び性能確認方法案に対する意見募集
 - 意見募集結果を踏まえた公募要領の作成

■ 技術公募

- 道の駅等の防災拠点の耐災害性を高める技術に関する技術公募(案)

対象技術	公募する技術(案)
発電・蓄電技術	道の駅内の道路施設における太陽光等の自然エネルギーを活用した発電技術及び発電した電力を蓄電し、停電時等の必要な場面で必要な電力を供給する技術
通信技術	国が管理する国道等に埋設されている道路管理用光ファイバーネットワークを活用した、道の駅におけるローカル5Gシステムに関する技術

